

2 「熟議」サポート事業

1 目的

地域協育ネット協議会や学校運営協議会の取組の充実に向けて、子どもたちを巡る現状や課題、協議会の役割等に関する情報やファシリテートのノウハウ等を提供することにより、協議会における「熟議」の活性化を図る。

2 主催

山口県教育委員会

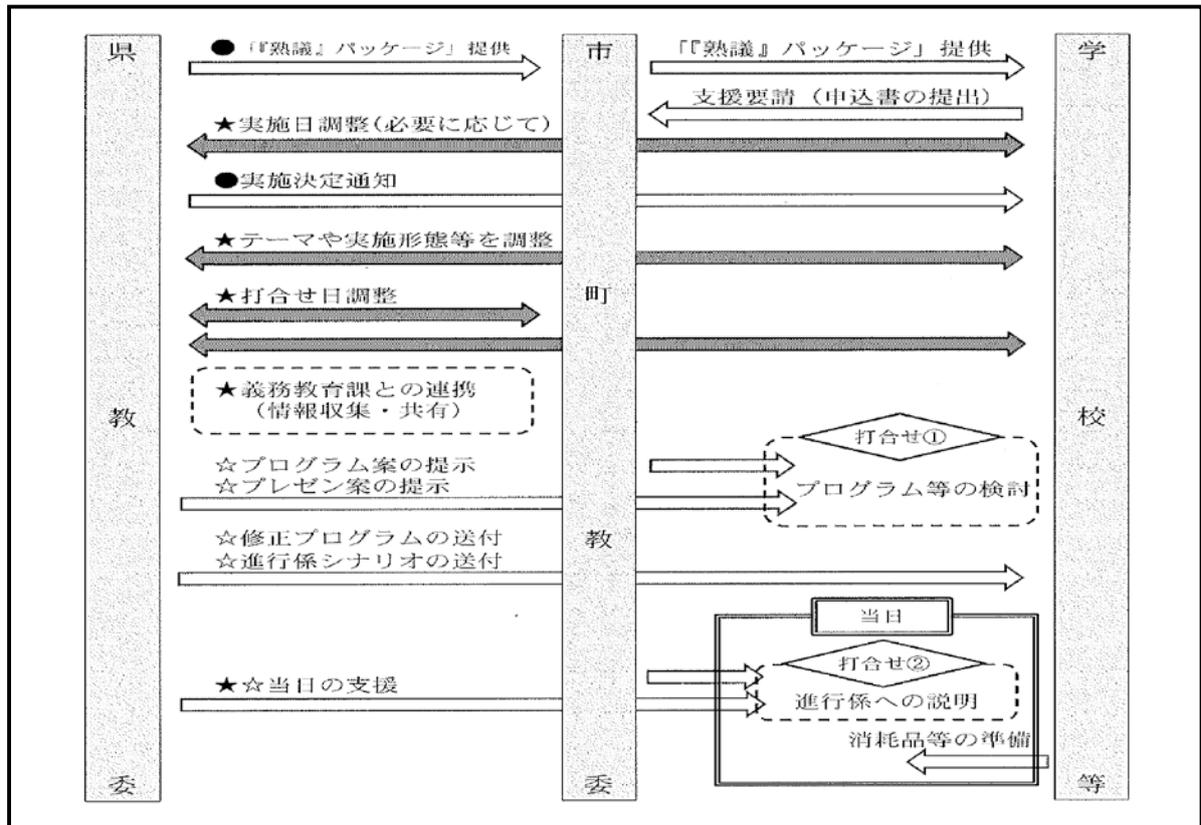
3 対象

地域協育ネット協議会関係者、学校運営協議会関係者等

4 事業概要

- ・地域協育ネット協議会、学校運営協議会等にファシリテーター等（山口県教育庁社会教育・文化財課職員）を派遣
- ・現状認識に関わる情報提供、グループワーク等
- ・開催時間は90分程度

5 「熟議の場づくり」応援出前講座」実施までの流れ



6 講座の流れ

① 参加者へのビデオメッセージ 又は 「はつらつ山口っ子」視聴

- コミュニティ・スクール推進員 (CSマイスター) からの応援メッセージ
- 「はつらつ山口っ子 (企画：県教委 制作著作：山口放送)」



② 現状認識にかかわる情報提供

- 子どもを取り巻く環境
- 「やまぐち型地域連携教育」の推進について
(「地域協育ネット」とは。「コミュニティ・スクール」とは。)



③ グループワーク

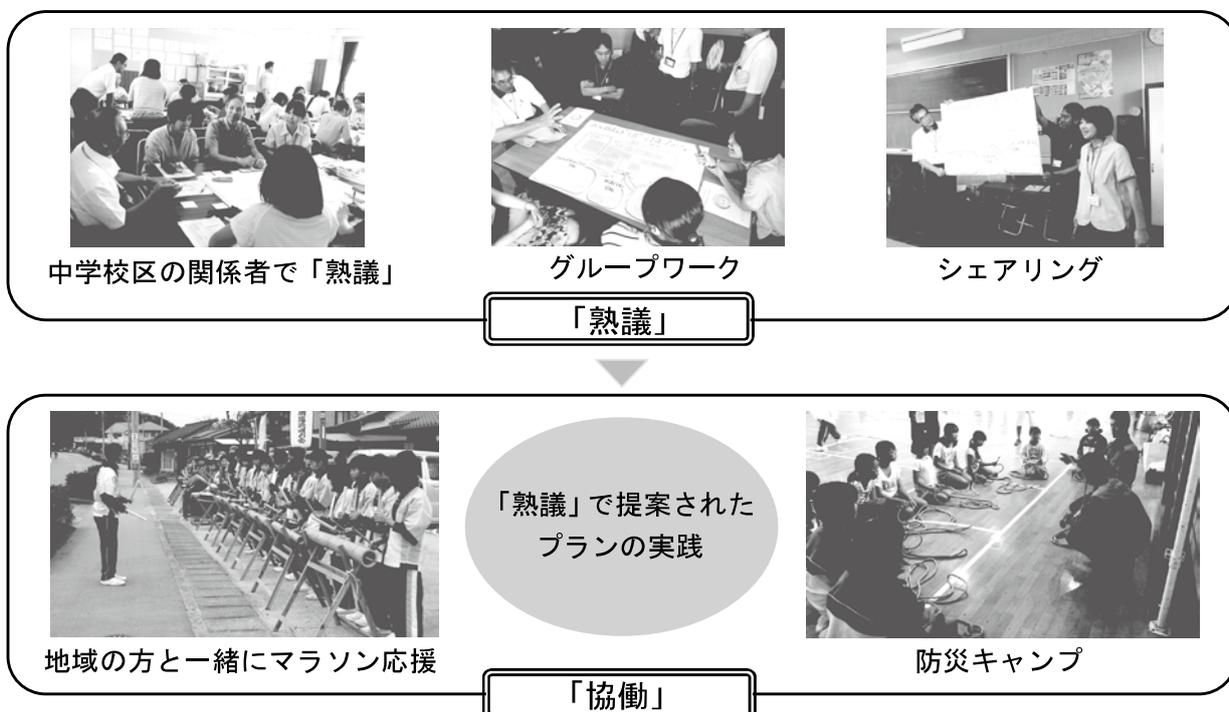
- テーマに関して、意見を出し合い、考えを深める。



④ シェアリング (15分)

- 各グループの意見を全体場で共有する。
- 「熟議」を今後の動きにつなげていくことを確認する。

7 講座の様子とその後の動き



8 成果と課題

(1) 成果

本講座を通して、地域協育ネット協議会や学校運営協議会で「めざす子ども像」に対する参加者の思いを共有したり、学校・家庭・地域が連携・協働した具体的な取組が提案されたりした。

参加者からは「様々な立場の人と意見を交わらせて大変良かった。」「具体的に考えることができたので、実践につなげていきたい。」といった意欲的・建設的な意見が多く寄せられた。

このように、本講座での「熟議」が、地域協育ネット協議会や学校運営協議会の活性化につながる一つの契機となったことは、大きな成果である。

〔県主体：8か所で実施、対象校(中学校11校、小学校27校)、参加者数 のべ368人〕

〔市町主体：11か所で実施、対象校(中学校17校、小学校27校)、参加者数 のべ490人〕

H28. 1. 31 現在

(2) 課題

先進校の事例紹介等から「熟議」の成果を生かし、「協働」に向けた具体的な動きが少しずつ見られるようになってきた。「熟議」から「協働」へ」というプロセスの具現化に対する活動意欲を「地域協育ネット」の中でより高めていくことが、今後の課題である。